

1 題材名 歌舞伎の魅力を味わおう～「勸進帳」を通して～

2 題材のねらい

音楽の特徴を物語と関連付けて理解し、自分なりの言葉で根拠をもって歌舞伎音楽のよさ、美しさ、そして歌舞伎の魅力について伝えることができる。

3 授業の構想

本学年は音楽の好きな生徒が多いが、今回取り扱う日本の伝統芸能の歌舞伎は実際に観たことがある生徒はほとんどおらず、テレビなどで観る生徒も少ない。生徒にとって触れる機会の少ない歌舞伎は、親しみのないものと考えられる。しかし、江戸時代に生まれ、今もなお発展している日本の伝統芸能である歌舞伎のよさ、そして歌舞伎に欠かせない歌舞伎音楽のよさ、美しさを味わい、自分なりの言葉でそのよさを伝える力を育みたい。

本題材では、歌舞伎「勸進帳」を取り上げる。歌舞伎は、音楽、舞踊、演技からなる総合芸術であり、たくさんの見どころがある。今回は、今まで実際に観ることがなかった生徒に間近でよさを感じてもらいたいと考え、歌舞伎を生で鑑賞する機会を設定する。まずは、歌舞伎役者たちの演技、音楽との息の合わせ方、衣装や舞台などの美術、そして観客も一緒に舞台に参加しているという臨場感を味わわせたい。また、三味線特有の音色を生で聴き、歌舞伎の中に音楽があることによって演技が生き生きとする様子やその場面の雰囲気などをどのように音で表現しているのかについても着目させたい。演目は、義経と弁慶の出会いを描いた五条橋を鑑賞する。

そういった本物を観る体験をした上で、「勸進帳」を鑑賞する。「勸進帳」の音楽の大部分は、長唄囃子連中によって演奏される。その編成は全歌舞伎演目の中でも最大規模であり、小編成の五条橋とは異なる音楽表現を聴取できると思われる。また、複数の演目に触れることで、それぞれの音楽表現の違いを知覚させ、自分なりに感受した歌舞伎の魅力を、他者に伝える力を育みたい。

そこで、本題材を展開するにあたり次の点を大切にしていく。

ねらいに即した音楽を形づくっている要素に焦点をあてた授業展開の工夫

唄や楽器の音色、速度（テンポの変化、間）、強弱（唄や三味線を演奏する人の人数の変化）に絞って聴くことで、音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気などに気付く力・感じ取る力をつけたい。

生徒同士の気付きや感じ取りを深めていく場の設定や教師のはたらきかけの工夫

ペアやグループで意見を交換することで、自分一人では気付かなかったことに気付き、考えを広げることができる。また、教師が生徒の発言から「なぜそう思うのかな」と問いかけることで、根拠や思いを明確にできるようにしたい。

4 展開計画（全5時間 本時4／5）

○歌舞伎の特徴、要素を知り、長唄や楽器の音色を感じ取る。（1校時）

○実際に観て、歌舞伎の雰囲気、演技と音楽の息遣いを感じる。（2・3校時）

○「勸進帳」の2場面を観て、登場人物の気持ちと音楽がどう関わっているかを感じ取る。（4校時・本時）

○グループで歌舞伎のよさ、面白さをまとめ、プレゼンする。（5校時）

5 本時の学習

(1) ねらい

登場人物の気持ちと音楽がどう関わっているかを感じ取り，自分なりの言葉で説明することができる。

(2) 展開

主な学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
1. 「勸進帳」のあらすじを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・あらすじを知ることで，弁慶の気持ちをイメージできるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 弁慶の気持ちと音楽がどう関わっているかを感じ取ろう。 </div>	
2. 勸進帳を読む場面を観て，音楽の雰囲気，使われている楽器の音色を感じ取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・富樫に分かってしまわないように，ドキドキしながらも平静を装う緊張感が，笛の鋭い音で表されている。 ・あまりたくさんの音が使われていない。独特の間がある。そのことで，緊張感を表しているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セリフが書かれたプリントを準備し，今どの場面か分かるように前に掲示する。 ・このときの弁慶の気持ちを想像できるように，表情にも注目させる。 ・使われている楽器の音色，間，強弱に注目させ，場面の様子，弁慶の気持ちをどう表しているか考えさせる。
3. 義経，弁慶たちが逃げようとするのを富樫が呼び止め，詰め寄っていく場面を観て，音楽の雰囲気，楽器の音色を感じ取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・さっきより演奏する人の人数が増えて，動きが出た。 ・だんだん曲の速さが早くなって，弁慶たちの緊張感が高まっていくのを表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セリフが書かれたプリントを準備し，今どの場面か分かるように前に掲示する。 ・このときの弁慶の気持ちを想像できるように，表情にも注目させる。 ・使われている楽器の音色，速度，強弱に注目させ，場面の様子，弁慶，義経の気持ちをどう表しているか考えさせる。
4. 二つの場面から，歌舞伎における音楽の役割を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを表すのに間を用いて，演技と音楽が一体となるように，演奏者の人達がしっかりと息を合わせている。 ・登場人物一人の思いを表す時には楽器を少なめにし，たくさんの登場人物の思いが絡み合っている時には，たくさんの演奏者で楽器の音色も強い音で盛り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素と結びつけて説明できるように，要素を絞って考えるようにする。(音色，速度，強弱) ・ペアで意見交換する場を設定することで，自分一人では気付かなかった点に気付くことができるようにする。 <div data-bbox="775 1473 1406 1816" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">評価の観点（鑑賞の能力）</p> <p>音楽を形づくっている要素（音色，速度，強弱）を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを理解するとともに，音楽の特徴を物語と関連付けて理解し，根拠をもって批評して，歌舞伎音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p style="text-align: center;">【評価方法：観察・発言・ワークシート】</p> </div>
5. 本時を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎は，演技と音楽が一体となって作られているものと分かった。 ・音楽があることによって，演技がさらに生き生きとしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演技とどう関わっているか考えさせる。 ・楽器の使い方（効果音）についても目を向けさせる。